

研究テーマ

「3つのポイントに気を付けて、
座って、静かに話を聞く力をつける」

1

本実践に関連する児童の実態

対象児童 小学校第1学年

○課題

- ・授業中に立ち歩くことがある。
- ・突発的な発言がある。
- ・こだわりが強い（一番でありたい・正解しなければならない）。

○強み

- ・学習に対する意欲が高い。
- ・見通しがもてると集中しやすい。

2

指導目標・指導仮説

教科等及び単元（題材）名

自立活動「ききかた名人になろう」

目標（本実践終了時の期待する子供の姿）

自分のしたいことや突発的な行動を抑え、話を最後まで聞くことができる。

指導仮説

あらかじめ聞き方のポイントを示し、見通しをもって話を聞かせたり、上手に聞けていることを目に見える形で評価し実感させたりすることで、席についたまま、口を挟まず、人の話を聞く力をつけることができるだろう。

児童の実態

3

指導・評価の計画

◆表1 指導・評価の計画

	主な学習活動	目標	評価方法
1次	話の聞き方を理解する。	・相手の方を見て、口を挟まずに聞くことを理解している。	発言 行動観察
2次	話の聞き方を練習する。	・お話サイコロで互いに話をしながら、友達や教師の話を聞く。	発言 チェックシート
3次	実践し、振り返る。	・授業で学習した話の聞き方を使い、友達の話聞くことができる。	発言

◆表2 実践前後の変容の評価

評価内容	評価方法
実践前後の、朝の会や教科学習の様子	チェックシート 行動観察

4

指導の実際①

- ・見通しをもたせる

聞き方の「3つのポイント」を示す。

- ①話している人の方を見る。
- ②黙って聞く。
- ③座って聞く。

聞く活動の前に毎回確認し、できているときには声かけをし、言葉で評価をする。

5

指導の実際②

- ・お話サイコロ

サイコロクッションを振り、出た目に示された話題で話をする。話題の設定は「昨日の夜ご飯」のように必ず答えられるものにする。

朝の会で日常的に使い、会話の糸口になっている。

昨日のおやつの話がしたいから、3番が出てほしいな。



6

指導の実際③

・目に見える形での評価

「3つのポイント」が守れたときには、マグネットを貼り、いくつ集められたか最後に確認する。

立ち歩きの回数を正の字でカウントする。



7

指導の実際④

・授業以外での評価

連絡帳（家庭での取組で、約束が守れたときには表紙にシールを貼っていく。）

しあわせ玉（行事ごとや日々の学習でのがんばりに応じて、大きな瓶にビー玉を溜めていく。）



8

学習過程の評価

	主な学習活動	児童生徒の状況	達成状況
1次	話の聞き方を理解する。	・話の聞き方については理解しているが、途中で口を挟んだり、不意に立ち歩いたりして、話している人の方を向いて聞けないことがあった。	△
2次	話の聞き方を練習する。	・①話している人の方を見る。 ②黙って聞く。 ③座って聞く。 の「3つのポイント」を、話をする前に確認することで、意識しながら話を聞くことができた。立ち歩きはないが席を立つことがあった。	○
3次	実践し、振り返る。	・繰り返し意識させることで上記の3点に気を付けることができた。 ・立ち歩いたときには合図で戻ることができた。	○

9

実践前後での児童の変容

実践前	実践後
・話をしている人を見て話を聞くことができていない。	→ 「3つのポイント」を想起させると、話をする人を見て話を聞くことができた。
・人が話している時でも、自分の話したいことを思いつくと話し始めることがある。（15分間に10回）	→ 人が話しているときの発言は、話の内容に関わるものであった。（関係ない話は15分間に0回）
・学習中に立ち歩くことがたびたびある。	→ 席から立ち上がるのが15分間に4回あった。立ち歩きはなくなった。

10

指導仮説の検証

●児童生徒は目標を達成したか。

・達成した。

●判断の理由・根拠

・朝の会や教科学習において、教師や友達の話に黙って席にいたまま聞くことができた。

●指導の工夫は有効であったか

・有効であった。

●判断の理由・根拠

・意識するポイントを口頭で伝えるだけでは難しかったが、掲示物で確認することで行動に移すことができ、取り組みやすくなった。

・連絡帳のシールやしあわせ玉は、たくさん集まったことの結果が目に見えてわかり、毎日「〇個になったよ。」と数えながら継続する意欲につながった。

11

指導の改善案

成果（よかった点）	課題（改善が必要な点）
<ul style="list-style-type: none"> ・意識する3つのポイントを事前に示すことで、見通しをもたせることができた。 ・評価を見える化することで、がんばりを実感させることができた。 ・連絡帳を使って家庭と連携したことで、学校と家庭で共通した指導を行うことができ、意欲の継続にも有効であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意識するポイントを毎回教師が確認していたので、自分で意識することができるような工夫が必要である。
<p>成果・課題を踏まえた改善案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意識する「3つのポイント」をキーワード化した掲示物を常時使い、いつでも見て確認することができるようにする。 	



12